

各関係大学長  
各関係学部長 殿  
各関係機関の長

岩手大学教育学部長  
清水 茂 幸  
(公印省略)

### 教員公募について（依頼）

このたび、本学部では下記の要領により教員を公募します。  
つきましては、この旨を関係者に広くお知らせいただきますよう、よろしくお取り計らい願います。

#### 記

1. 職 位 准教授又は講師  
(※講師の場合はテニユア・トラック教員となります。)
2. 採用人数 1名
3. 専門分野 理科教育学
4. 担当授業科目  
学部科目：基礎ゼミナール、理科教育法Ⅰ（分担）、理科教育法Ⅲ、理科教育法Ⅳ（分担）、  
小学校理科（分担）、生物学実験Ⅰまたは地学実験Ⅰ、小学校実践研究（分担）、  
卒業研究、等  
大学院（教育学研究科 教職実践専攻（教職大学院））科目：理科教育の実践と課題 等  
教養教育科目：教養教育等の全学実施体制を図るため、採用分野を踏まえ、「教養教育科目」又は「専門基礎科目」から1科目以上を必ず担当していただきます。
5. 任 期  
准教授採用の場合：なし（※ただし、65歳となった年度の末日をもって定年退職）  
講師採用（テニユア・トラック教員）の場合：5年。ただし、採用から3年経過する日までに中間評価、4年6か月となる日までにテニユア審査をそれぞれ行い、准教授に必要とされる目標値を達成したと判断された場合は、テニユア（准教授、任期なし）が付与されます。なお、中間評価において、特に優秀な評価を得た場合には、その時点でテニユア付与の適格性について審議する場合があります。
6. 応募資格
  - (1) 修士の学位を有する者、又はこれに準ずる研究業績を有する者。
  - (2) 大学院（教育学研究科 教職実践専攻（教職大学院））において、教育・研究の指導ができる者。
  - (3) 小中高等学校における教育実践経験、又は教育研究機関等での勤務経験を有する者が望ましい。
  - (4) 採用後は、盛岡市又はその近郊に居住できる者。
  - (5) 概ね修士課程修了後15年又は博士課程修了後12年までの者。

7. 採用予定日 令和8年4月1日

## 8. 提出書類

- (1) 教員個人調書（本学の書式による。写真添付。A4判用紙、パソコン使用。）
- (2) 教育研究等業績書（本学の書式による。著書、学術論文（実務経験者については、実践報告等も学術論文の一部に代えることができる。）、教育活動、地域・社会・国際交流貢献活動等に分けて年代順に記載。A4判用紙、パソコン使用。）
- (3) (2)の研究業績のうち主要著書・論文等合わせて5編以内（コピーでも可）。ただし、必要に応じて追加して論文等の提出を求める場合があります。
- (4) 本学採用後の教育・研究（小中学校の教員養成を含む）に対する抱負（A4・2枚）
- (5) 応募者の業績等の照会先（氏名と連絡先：2名）

※本学所定の「教員個人調書」「教育研究等業績書」の書式は、本学部ホームページからダウンロードして下さい。（Word）→『岩手大学教育学部』→『お知らせ』→『教員公募』  
(<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/>)

9. 応募締切 令和7年9月30日（火）必着

## 10. 提出先

応募書類は郵送又はインターネット（E-Mail）により受け付けます。

### (1) 郵送の場合

封筒に「理科教育科教員（理科教育学）応募書類在中」と朱書きし、以下の提出先に書留便（簡易書留も可）で送付してください。

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番33号 岩手大学教育学部長 宛

### (2) インターネット（E-Mail）の場合

応募書類は、それぞれ PDF 形式のファイルとしてメールに添付して、応募先メールアドレスにお送りください。添付ファイルのサイズは20MB以内としてください。

なお、メールの件名は「理科教育科教員（理科教育学）応募」としてください。書類受領後3日以内にメール返信をします。返信がない場合はお問い合わせください。

書籍などメールに添付できない書類を送る場合には、封筒の表面に「理科教育科教員（理科教育学）応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合の（1）の提出先に書留便（簡易書留も可）で送付してください。

応募先アドレス：hisasaka@iwate-u.ac.jp

11. 照会先 岩手大学教育学部理科教育科 久坂 哲也 E-mail: hisasaka@iwate-u.ac.jp

## 12. その他

- (1) 専門分野は「理科教育学」で、理科教育学に関わる教育・研究を主としますが、小学校及び中学校の生物学や地学に関する科目（「小学校理科」「生物学実験Ⅰ」「地学実験Ⅰ」）を担当する予定です。なお、「生物学実験Ⅰ」「地学実験Ⅰ」は、中学校理科の教科書に掲載されている実験を扱う内容です。
- (2) 研究業績のほか、教育上の能力、社会貢献に関する業績及び大学等の組織運営上の実績等も考慮します。
- (3) 速やかに連絡がとれるように、携帯電話番号と電子メールアドレスを「教員個人調書」に記入してください。
- (4) 書類選考後に面接を行いますが、旅費等は応募者負担となります。
- (5) 提出していただいた書類等は原則返却しませんが、返却を希望する場合にはその旨を明記し、着払いの送り状を添付してください。
- (6) 応募書類に含まれる個人情報、採用者の選考および採用後の必要な手続きに使用する

ものであり、他の目的では使用しません。

- (7) 採用後は教育学部の教員として、組織運営上の業務、教育実習関連業務や現職教員の研修に係る業務にも従事していただきます。
- (8) 教養教育科目の学問知科目をご担当いただく場合は、遠隔授業用オンデマンドコンテンツ及び動画シラバス（概要紹介）を必ず作成していただきます（1単位（全7回）×2科目以上）。
- (9) 岩手大学はダイバーシティを推進しており、多様な研究者の増加・定着のため、本公募に関し以下の取組を実施しています。

**【若手教員採用促進に関する取組】**

- ・最大200万円のスタートアップ経費（研究費）の支給  
テニュア・トラック教員（講師・助教）に対し、研究費として、採用日から2年間分200万円を一括支給

**【女性教員採用促進に関する取組】**

- ・女性の優先採用（業績および資格等に関わる評価が同等と認められる場合）
- ・最大100万円の定着支援経費（研究費）の支給  
本学に赴任する女性教授・准教授に対し、研究費として50万円×2年間支給、女性講師・助教に対し、研究費として、採用日から2年間分20万円を一括支給
- ・産前産後休暇、育児休業及び介護休業を取得していた場合には、選考の過程で考慮（性別不問。ただし、履歴書に取得期間を明記すること）
- ・ワーク・ライフ・バランスに関する各種支援：  
<https://diversity.iwate-u.ac.jp/support/wlb/>  
両住まい手当制度、次世代育成支援（出産・育児との両立支援）・介護支援、学内保育所、学内保育スペース等
- ・女性研究者のキャリア支援：  
<https://diversity.iwate-u.ac.jp/support/womenresearchers/>  
研究支援員・補助員配置制度、女性活躍変形バイアウト制度、女性研究者グローバルキャリア支援海外派遣制度等

※文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ「女性リーダー育成型」を活用した支援を随時実施予定：<https://iwatewomensleadership.iwate-u.ac.jp/>